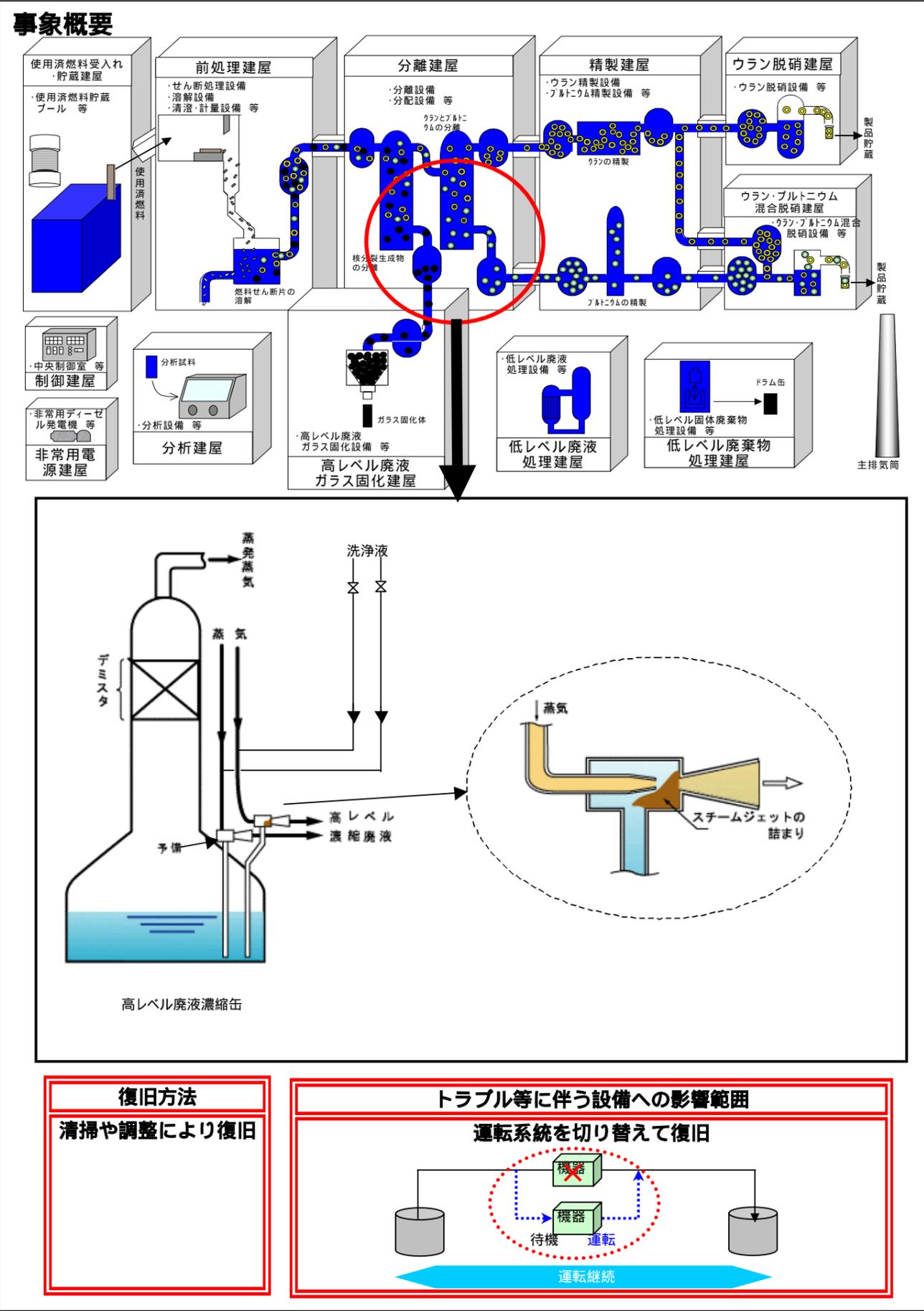


再処理工場が発生が予想されるトラブル等とその対応 (No.1-18)

件名	高レベル廃液濃縮缶から溶液を移送するスチームジェットにおける詰まり															
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 高レベル廃液濃縮缶</p> <p>(2) 設備の概要 高レベル廃液の濃縮・容積減少のため、蒸発処理を行う装置。</p> <p>(3) 発生の状況 高レベル廃液濃縮缶の運転中(濃縮終了後の液移送中)</p> <p>(4) 概要 高レベル廃液濃縮缶底部に堆積した沈殿物により、濃縮液の移送用スチームジェット及び吸い込み配管が詰まり、濃縮液の移送が停止。 * 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p> <p>(5) 原因 運転を継続することで発生する詰まり(予め対応手順を定めている)</p>															
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分離建屋塔槽類廃ガス処理設備が稼働している高レベル廃液濃縮缶内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 高レベル廃液濃縮缶の濃縮液移送用スチームジェットの作動不可により、液移送はできないが、高レベル廃液濃縮缶は加熱停止後の冷却中であるため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。なお、スチームジェットは2系統を有しているため、別系統に切り替えて移送を行うことができる。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 詰まり除去の復旧作業は、定められた放射線管理計画書に従って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 スチームジェットは2系統を有しているため、別系統に切り替えて移送を行う。</p>															
対応の概要	<p>(1) 別系統のスチームジェットに切り替えて移送を完了させる。</p> <p>(2) スチームジェットに詰まりが生じていることを確認する。</p> <p>(3) 定められた保守作業手順に従い、スチームジェットへ供給する蒸気配管から溶液(温水、硝酸など)を通水して、沈殿物を排出させる。</p> <p>(4) 詰まりが除去できない場合は、定められた保守作業手順に従って、フリーズバルブを作動させ、詰まりを除去する。</p>															
公表区分 ^{*1}	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)															
情報区分 ^{*1}	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="2">運転情報</th> </tr> <tr> <td>A情報</td> <td>B情報</td> <td>C情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>不適合等</td> </tr> </table>	トラブル情報			運転情報		A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等					不適合等
トラブル情報			運転情報													
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等												
				不適合等												



*1 「A情報」:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、「B情報」:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、「C情報」:A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象